

## 平成27年度広島大学入試の主な変更点（概要）

### 1. 平成27年度入学者選抜（一般入試）における数学・理科の取扱いについて（平成24年3月公表済み）

学習指導要領の改訂に伴う平成27年度入学者選抜（一般入試）における数学・理科の取扱いについて、大学入試センター試験の利用科目及び個別学力検査の出題科目は次のとおりです。

#### （1）大学入試センター試験の利用教科・科目（概要）

##### ① 数学

「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」

※「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

##### ② 理科

《文科系の学部・学科等》

「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目選択（注1）（注2）

《理科系の学部・学科等》

「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目選択（注2）

（注1）理科において受験を要する科目を、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目と指定している場合には、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目を選択することに代え、「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目を選択することができます（但し、歯学部口腔健康科学科を除く）。

（注2）学部・学科等によって異なる場合があります。

#### （2）個別学力検査の出題科目

##### ① 数学

次の4科目又は5科目から出題します。

4科目：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列，ベクトル）

5科目：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数列，ベクトル）

##### ② 理科

次の4科目から出題します。

「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」「地学基礎・地学」

※「物理基礎・物理」は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

「化学基礎・化学」は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

「生物基礎・生物」は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

「地学基礎・地学」は、「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

※詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/109/nyushi-h27/h27nyushi\\_1312.pdf](http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/109/nyushi-h27/h27nyushi_1312.pdf)

2. AO入試総合評価方式Ⅱ型（大学入試センター試験を課す入試）における大学入試センター試験「理科」の利用科目を次のように変更します。

学部・学科等			理科
教育学部	第一類(学校教育系)	初等教育教員養成コース	物基, 化基, 生基, 地学基から2 又は 物, 化, 生, 地学から2
		特別支援教育教員養成コース	
	第二類(科学文化教育系)	社会系コース	
	第五類(人間形成基礎系)	教育学系コース	
心理学系コース			
経済学部	経済学科昼間コース	A 選抜	
歯学部	口腔健康科学科	口腔保健学専攻	物基, 化基, 生基から2 又は 物, 化, 生から1 又は 2

3\*. AO入試総合評価方式の出願書類について、次のように変更します。

出願書類のうち、志願者評価書（様式2）を廃止します。また、自己推薦書（様式1）については、内容を整理してこれまでのA4判4枚を2枚に変更します。

4\*. 文学部人文学科の一般入試における大学入試センター試験「地理歴史・公民」の利用科目について、次のように変更します。

<変更前>

世B, 日B, 地理B, 倫・政経から2科目を選択

<変更後>

世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から2科目を選択 (ただし, 公民から2科目選択は不可)

5. 教育学部第一類（学校教育系）初等教育教員養成コース・特別支援教育教員養成コースの一般入試における科目選択方法について、次のように変更します。

「前期日程」, 「後期日程」とも、文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。これは受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分とは異なります。入学後の教育プログラムの内容とも関係しません。なお, 可否は文科系, 理科系の区別なく総合点で判定します。

詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/109/nyushi-h27/h27nyushi\\_1312.pdf](http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/109/nyushi-h27/h27nyushi_1312.pdf)

6. 教育学部第一類（学校教育系）初等教育教員養成コース・特別支援教育教員養成コースのAO入試総合評価方式Ⅱ型（大学入試センター試験を課す入試）における科目選択方法について、次のように変更します。

大学入試センター試験の科目選択方法について, 文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。これは受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分とは異なります。入学後の教育プログラムの内容とも関係しません。なお, 可否は文科系, 理科系の区別なく合計点で判定します。

7\*. 教育学部第二類（科学文化教育系）数理系コースのAO入試総合評価方式Ⅰ型（大学入試センター試験を課さない入試）における最終選考について、次のように変更します。

<変更前>

最終選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む)

<変更後>

最終選考 筆記試験, 面接 (プレゼンテーション含む)

8\*. 教育学部第四類（生涯活動教育系）人間生活系コースのAO入試総合評価方式I型（大学入試センター試験を課さない入試）における面接の内容について、次のように変更します。

<変更前>

人間生活系コースで学ぶために必要とされる資質を問う課題を当日提示しますので、それに関する5分程度のプレゼンテーションを口頭発表の形式で行います。（点数化して評価）

<変更後>

人間生活系コースで学ぶために必要とされる基礎的な学力、及び中等家庭科教員としての資質を問う課題を当日提示し、それに関する5分程度のプレゼンテーションを含む面接を実施し、多面的、総合的に評価します。（点数化して評価）

9. 教育学部第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コースの一般入試前期日程における実技内容について、次のように変更します。

<変更前>

次の①②③を受験 ただし、③はa. b. c. から1つを選択

①コールユーブンゲン

②楽典

③a. 演奏, b. 作曲, c. 論述

<変更後>

次の①②を受験

①コールユーブンゲンの視唱

②次のA又はBから1種目を選択

A. 演奏, B. 作曲

※詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/16598>

10. 教育学部第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コースの一般入試後期日程における実技内容について、次のように変更します。

<変更前>

次の①②③を受験 ただし、③はa. b. から1つを選択

①コールユーブンゲン

②楽典

③a. 演奏, b. 作曲

<変更後>

次の①②を受験

①平成20年3月告示の中学校学習指導要領に記載の歌唱共通教材1曲の弾き歌い

②次のA又はBから1種目を選択

A. 演奏, B. 作曲

※詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/16598>

11. 教育学部第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コースのAO入試総合評価方式I型（大学入試センター試験を課さない入試）及びAO入試フェニックス方式（中高年者を対象とした入試）における実技内容について、次のように変更します。

<変更前>

次から1種目を選択して受験

A. 声楽, B. 器楽, C. 作曲

<変更後>

次の①②を受験

①コールユーブンゲンの視唱

②次のA～Cから1種目を選択

A. 声楽, B. 器楽, C. 作曲

※詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/16598>

12\*. 教育学部第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コースのAO入試総合評価方式I型（大学入試センター試験を課さない入試）における配点について、次のように変更します。

<変更前>

小論文 150点満点    実技 300点満点    面接 150点満点

<変更後>

小論文 150点満点    実技 350点満点    面接 100点満点

13\*. 教育学部第四類（生涯活動教育系）造形芸術系コースの募集人員について、次のように変更します。

<変更前>

AO入試：6人    前期日程：4人    後期日程：2人

<変更後>

AO入試：5人    前期日程：5人    後期日程：2人

14\*. 教育学部第四類（生涯活動教育系）造形芸術系コースのAO入試総合評価方式I型（大学入試センター試験を課さない入試）における実技について、次のように変更します。

<変更前>

次の①②の両方を受験してください。

①平面表現（石膏像を含まないモチーフによる鉛筆デッサン）

②立体表現（紙による立体構成）

注意

(1) 試験時間は、①②それぞれ2時間です。

(2) 材料・用具は、すべて大学で用意します。

<変更後>

石膏像を含まないモチーフによる鉛筆デッサン

注意

(1) 試験時間は、3時間です。

(2) 材料・用具は、すべて大学で用意します。

15\*. 教育学部第四類（生涯活動教育系）造形芸術系コースの一般入試後期日程における実技について、次のように変更します。

<変更前>

次の①②③④⑤の分野のうちから一つのみ選択して受験してください。

①絵画（鉛筆による石膏像デッサン）

②彫刻（粘土による立体表現）

③デザイン（ポスターカラーによる平面構成）

④工芸（透明水彩絵具による色彩表現）

⑤鑑賞（ワークシートをもとにした鑑賞文の作成）

<変更後>

次の①②③④の分野のうちから一つのみ選択して受験してください。

①絵画（鉛筆による石膏像デッサン（幾何形体を含まない））

②彫刻（粘土による立体表現）

③デザイン（ポスターカラーによる平面構成）

④工芸（透明水彩絵具による色彩表現）

⑤削除

16. 医学部医学科の一般入試前期日程における個別学力検査の外国語の選択科目について、次のように変更します。

<変更前>

リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 から1

<変更後>

リーディング・ライティング を1

17. 医学部医学科の一般入試後期日程における大学入試センター試験の外国語の利用科目について、次のように変更します。

<変更前>

英, 独, 仏, 中, 韓 から1

<変更後>

英 を1

18\*. 医学部医学科のAO入試Ⅱ型（大学入試センター試験を課す入試）における出願資格等について、次の下線部分の文言を追加します。

出願資格等

AO入試の出願資格を満たし、入学後はMD-PhD コースへの進学を確約できる者で、下記に示す（\*1）において医学部医学科で指定する要件（\*2）を満たすもの。

（\*1）①日本数学オリンピック ②全国物理コンテスト（物理チャレンジ） ③化学グランプリ（旧：全国高校化学グランプリ） ④日本情報オリンピック ⑤日本生物学オリンピック（旧：生物チャレンジ） ⑥日本地学オリンピック ⑦科学研究に関する活動を積極的かつ継続的に行い、その成果や活動を客観的に示すことができるもの。

（\*2）①④は予選合格、②③⑤⑥は一次合格。①～⑥の取得年次は問わない。⑦は証明できる書類を提出すること。

選考方法

◇第1次選考：書類選考 ※上記科学オリンピックの①～⑥の要件のいずれかを満たしている場合は、第1次選考を免除します。

◇最終選考：小論文、面接及び大学入試センター試験（最終合格者となるには大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点合計が、合格基準点（720点）以上であることが必要です。）

19\*. 歯学部歯学科の一般入試後期日程における私費外国人留学生入試について、廃止します。

20. 薬学部薬学科の募集人員について、次のように変更します。

<変更前>

入学定員	前期日程	後期日程	AO入試Ⅱ型
38	33	<u>5</u>	—

<変更後>

入学定員	前期日程	後期日程	AO入試Ⅱ型
38	33	—	<u>5</u>

※ 後期日程を廃止して新たにAO入試Ⅱ型（大学入試センター試験を課す入試）を実施します。

21. 薬学部薬科学科の募集人員について、次のように変更します。

<変更前>

入学定員	前期日程	後期日程	AO入試Ⅱ型
22	12	5	5

<変更後>

入学定員	前期日程	後期日程	AO入試Ⅱ型
22	15	—	7

※ 後期日程を廃止して、その募集人員を前期日程とAO入試Ⅱ型に振り分けます。

22\*. 薬学部薬学科において、AO入試Ⅱ型(大学入試センター試験を課す入試)を新たに実施します。

◇第1次選考：書類選考

◇最終選考：面接、大学入試センター試験（最終合格者となるには大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点合計が、概ね合格基準点（700点）以上であることが必要です。）

23\*. 薬学部薬科学科のAO入試Ⅱ型（大学入試センター試験を課す入試）について、次のように変更します。

<変更前>

◇第1次選考：書類選考

◇最終選考：面接、筆記試験及び大学入試センター試験（最終合格者となるには大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点合計が、概ね合格基準点（700点）以上であることが必要です。）

<変更後>

◇第1次選考：書類選考

◇最終選考：面接、大学入試センター試験（最終合格者となるには大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点合計が、概ね合格基準点（700点）以上であることが必要です。）

24\*. 工学部第三類（化学・バイオ・プロセス系）のAO入試総合評価方式Ⅰ型（大学入試センター試験を課さない入試）における合否判定基準について、次のように変更します。

<変更前>

小論文(100点満点)、面接(200点満点)及び出願書類(100点満点)の総合点(400点満点)で判定します。

<変更後>

小論文(200点満点)、面接(100点満点)及び出願書類(100点満点)の総合点(400点満点)で判定します。

※ 平成27年度入試の詳細は、平成26年6月に公表の「入学者選抜に関する要項」「AO入試学生募集要項」及び11月公表の「一般入試学生募集要項」等で確認してください。

**国立大学初、広島大学はインターネット出願を平成27年度学部入試に導入します。**

インターネット出願の導入は、志願者にとって以下のようなメリットがあります。

- ・ 願書の取寄せが不要になり、24時間出願可能
- ・ コンビニエンスストアをはじめ、豊富な決済方法が選択可能
- ・ クレジットカードを利用した場合、入学検定料支払いまでがインターネット上で完結
- ・ 出願システムの機能により、記入間違いの自動チェックもできる

※ インターネット出願の詳細は、平成26年6月に公表の「入学者選抜に関する要項」等をご覧ください。